

【森の里地区】令和5年度あつぎタウンミーティング実施結果

<p>日 時: 令和5年7月22日(土) 午後1時55分～午後3時00分          会 場: 森の里公民館 2階集会室          参加者: 地区の自治会長(5名)、公民館地区館長、          市長、副市長、教育長、政策部長、市長室長、センター所長</p>
---

自治会長からの意見	市長等からの回答
-----------	----------

**意見1 小・中学校の適正規模・統廃合の再検討について**

<p>【森の里3丁目自治会】          ■来月に森の里地区の夏祭りが開催されます。プログラムでは、森の里小学校の鼓笛隊や森の里中学校のプラスバンドのほか、松蔭大学の軽音楽サークルなどが夏祭りに参加します。森の里地区においては、学校や地域が一体となったコミュニティ教育が進んでいると思います。森の里地区の住民が望んでいるのは、地域とともに子どもを育てることです。          小・中学校の統廃合については、森の里地区と玉川地区は規模が小さいため2クラスとなるのがなかなか難しく、統廃合の対象となることは承知しています。地元の人へのアンケート調査では、地域と学校が一体となった社会教育をずっと続けてきて成果も出てきていますので、今の体制を維持してもらいたい、という人の割合が他の地区に比べると高かったです。そういった地域のこれまでの歩みや意見も聴いた上で、小・中学校統廃合の判断をしていただけるのでしょうか。          また、児童・生徒の数が減少し、学校の規模も小さくなっているのも現実としてあるので、少し特色を持たせた学校に変化させていくのは、市長の将来の構想に入っているのでしょうか。</p>	<p>■市内小・中学校の適正規模・適正配置、統廃合については、以前から課題があることは伺っていました。森の里地区の夏祭りにおいて、地域の皆様が大切に育ててきた森の里小学校、森の里中学校の児童・生徒の活動があり、地域と学校が一体となって取り組めることはとても素晴らしいことです。          森の里小学校と森の里中学校があるからこそ、森の里地区の文化や歴史、これまで築き上げてきた皆様の絆というところも大事にしていかなければならないと重々承知しています。          森の里地区に若い方が移り住んでいただいて、皆様方が大事にしてきたものをつないでいくためにも、森の里小学校や森の里中学校は、まちづくりの核として残していかなければならない、どちらかが欠けて魅力を失ってしまうようなことは避けなければなりません。地域の特色や価値を維持していくためにも、教育長や地域の皆様方と丁寧に協議を進め、多くの方が納得いただけるようにしていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 教育総務課)</p>
---	--

**意見2 コミュニティ交通について**

<p>【森の里4丁目自治会】          ■森の里地区では、これまで11年間、市民グループである「森の里ぐるっと」が地区の住民ニーズに合った乗合交通を実施しています。          森の里地区の高齢化率は、現在46%を超え、自力での移動が難しい人が増えてきています。また、地形的にも山坂が多く、移動に困難な面があります。          そういった地域の特徴がありますので、高齢者の移動ニーズは今後も増えていくと想定されますが、今後も「ぐるっとバス」の安定した運行を継続していきたいと考えています。          今年4月に、森の里地区自治会連絡協議会から市へ要望書を提出しましたが、市として、どのような支援をしていただけるのでしょうか。</p>	<p>■10年以上継続して地域に根付いた「ぐるっとバス」は、森の里地区にとって必要不可欠な存在となっています。高齢者の移動手段を確保するという本来の目的以外にも、地域の見守りや防犯機能、利用者間による交流が図られ、高齢者の外出機会を促進する面もあり、大変感謝しています。          様々な御要望をいただいておりますが、引き続き、地域の皆様とコミュニケーションを取りながら、市においてできる限りの支援をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 都市計画課)</p>
---	--

**意見3 家賃補助について**

<p>【森の里1丁目自治会】          ■高齢化や少子化が進んでいますが、市の住宅政策で親元への近居・同居の支援策の効果もあってなのではないでしょうか、森の里1丁目地区内に数件の転入がありました。引っ越してきていただいて大変うれしく思います。          最近では、在宅勤務などの働き方が広がり、子育てをしやすい環境という視点で住む場所を探している人が以前より多くなっていると思いますが、いきなり住宅を取得するのはハードルが高い人もいらっしゃると思います。          森の里地区はコンビニもないところですが、さらに若い世代が転入しやすくなるように、期間を定めて試験的に家賃を補助する制度はいかがでしょうか。お試しで賃貸住宅に一定期間住んでいただいて、その後、住宅の取得につながった場合に、遡って賃貸の一部を補助するなどの方法が案として考えられるのではないのでしょうか。</p>	<p>■若い世代が本市に移り住んでいただくための施策をいろいろと展開しています。令和3年度には、若年世帯の住宅取得支援事業補助金を創設し、子育て中の若年世帯が、新たに住宅を取得する場合に、住宅購入費の一部を補助するという施策で一定の成果を上げているところです。          また、親世帯と子世帯が近居・同居により、バランスの取れた人口構成による若年世帯から高齢者まで互いに支え合えるまちづくりを目指す親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金もあります。          定住につながるきっかけとして、賃貸物件についても家賃補助をすることで、それが起点となって、ゆくゆくは定住につながり地域コミュニティの維持につながるのではないかと御提案いただきました。          若い世代に移り住んでいただくこと、そして、地域コミュニティを維持していくことは大変重要であると考えますので、家賃補助に限らず、市内のこういった地域に若い世代が住んでいただけるような制度や支援について、今後の研究課題としていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 住宅課)</p>
---	---

**意見4 小・中学校統廃合問題について(ロードマップ)**

<p>【森の里1丁目自治会】 ■小・中学校の統廃合問題については、昨年来、1学年に1クラスとなると手厚い教育ができる反面、人間関係が固定化されてしまい、それが子どもたちにとって問題になる場合があるとのことで聞いています。小・中学校の統廃合を検討していくに当たっては、小・中一貫校とは言いませんが、併合校といった考え方もあるかと思えます。 ゆくゆくは財政的な面も含めて課題もあるかと思えますが、現在お話できる範囲で、どのようなロードマップを想定しているのでしょうか。</p>	<p>■昨年来、小・中学校の適正規模・適正配置については、地域の皆様にお話をさせていただき、児童・生徒の将来推計や課題について、共有させていただいたところです。 単級ということだけでなく1クラス当たりの人数も減っていく中で、すばらしい教育環境を存続していくためには、手立てが必要だと考えています。 森の里小学校、森の里中学校においては、地域の多くの皆様が学校を支えていただいて、地域とともにあるすばらしい学校です。子どもたちにとってどういう形の学校が良いのか、今後、地域の皆様と意見交換をしながら、可能性を探っていきたいと思います。 今後、子どもたちの人数は少なくなっていくと思いますが、小・中学校を一体化させることで、異学年の交流により多様な人間関係を構築することができるなどのメリットも期待できますし、子どもたちが少なくなることをむしろ強みとして、特色のある学校につなげていく視点が重要になってくると思います。引き続き、地域の皆様の御意見を伺いながら進めていきます。</p> <p>(担当課:教育総務課)</p>
--	--

**意見5 道路交通の円滑化等について**

<p>【森の里5丁目自治会】 ■厚木秦野道路の完成予定がだいぶ遅れているようです。 国の事業だと思いますが、市で把握している範囲で、現在の状況はどのようになっていますか。</p>	<p>■厚木秦野道路の建設は、国の事業で完成時期は公表されていませんが、市で把握している範囲でお答えします。 厚木秦野道路は全長約30キロメートル弱で、市内では圏央厚木インターチェンジから(仮称)厚木北インターチェンジまでの区間について、現在の圏央道と東名高速、第二東名高速を斜めにショートカットする道路となります。完成すると厚木市内の交通混雑の緩和が期待される、本市にとっても重要な道路です。 先日、厚木秦野道路の早期整備に向けて、財務大臣や国土交通省の副大臣と直接会い、要望をしたところです。 現在までのところ、用地買収については、約4分の3が済みであり、市内においても、できるところから工事が進められている状況です。</p> <p>(担当課:道路管理課)</p>
---	--

**意見6 鹿や猪の食肉について**

<p>【森の里5丁目自治会】 ■農業の面で、シカやイノシシの被害があると思いますが、食肉利用について、どのように考えていますか。</p>	<p>■シカやイノシシの肉はいわゆるジビエに分類されるものだと思います。県央姉妹都市構想の中で、観光面でガストロノミー・ツーリズムのお話がありました。その土地の気候風土が育んだ食を楽しみ訪れていただくためには、ある程度の量と、捕獲した後に食材として提供できる環境整備が必要となります。 今後、広域連携により市町村間で調整を進めていくことで、地元のレストランや皆様の食卓を飾ることもつながるかと思えますので、もうしばらくお時間をいただければと思います。</p> <p>《実施日以降の対応状況等》 ■ガストロノミー・ツーリズムについては、厚木市観光協会への委託事業として、令和5年度下半期の実施に向け準備を進めているところです。</p> <p>(担当課:農業政策課、観光振興課)</p>
--	---

**意見7 スポーツの聖地づくりについて**

<p>【森の里5丁目自治会】 ■スポーツの関係で、荻野運動公園がありますが、公式競技で利用ができる設備ではないと思いますので、今後、どのようにしていくのでしょうか。</p>	<p>■荻野運動公園の競技場で公式競技ができるようにするためには、しっかりとした施設整備が必要です。いろいろなスポーツがありますが、トッププレイヤーのプレーを市民の皆様に御覧いただけるように、現在は、規模やコストなどの基礎データを調査しており、検討を進めているところです。</p> <p>(担当課:スポーツ推進課)</p>
--	---